





国語， 数学， 理科(化学， 生物)問題

はじめに， これを読みなさい。

1. これは， 国語， 数学， 化学， 生物の4科目の問題を綴じた冊子である。必要な科目を選択して解答しなさい。食料環境政策学科受験者は「国語」が必須である。
2. 問題は， 数学， 化学， 生物については表面から83ページ， 国語については裏面から14ページある。ただし， ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか， 受験票と照合して確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい， 解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
5. 監督者の指示にしたがい， 解答用紙にある「解答科目マーク欄」に1つマークし， 「解答科目名」記入欄に解答する科目名を記入しなさい。なお， マークしていない場合， または複数の科目にマークした場合は0点となる。
6. 解答は， すべて解答用紙の所定欄にマークするか， または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答番号は各科目の最初に示してある。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は， 必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は， 消しゴムできれいに消し， 消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は， 絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず， 必ず提出すること。
12. この問題冊子は必ず持ち帰ること。
13. マーク記入例

良い例	悪い例
	  

国語問題

はじめに裏返して表紙の注意事項を必ず読みなさい。

1. この問題は14ページあります。
2. 解答番号は1～14, 101～106, 201～203です。
3. 数学・化学・生物は裏面から順にあります。

国語

(解答番号は1～14、101～106、201～203。記述式の解答は、解答用紙に横書きで記入すること。)

〔Ⅰ〕

次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。解答番号は1が

101

、2が

102

1 霧で視界がサエギられる。

2 その計画を実行するのは時期シヨウソウである。

〔Ⅱ〕

次の傍線部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。解答番号は1が

103

、2が

104

1 会議に諮¹って決める。

2 早寝早起きを励¹行する。

〔Ⅲ〕

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

二〇世紀の末になって、ようやく私たちは、「エコロジー」という名で呼ばれている思想の本質的部分が人間の未来の可能性をほとんど決定するほどに重要な意味を持つかもしれないということに気づきはじめた。人間が、地球というけつして無尽蔵ではない資源と環境を抱えたシステムの存続自体に、その将来を全面的に依存していることを、私たちはいまようやく科学的な理性をもって確認しようとしているのだ。

エコロジーとともに生きること。この新しい生存の基盤の認識は、おそらく二一世紀の私たちの生活のスタイルを大きく変え

る可能性をもっている。だがそのためには、私たちの生存にとつての「エコロジー」の真の意味とは何かについて、現在のエコロジー思想の表層的な展開への批判もふくめて、考えてみる必要がある。

A 現代の「エコロジー」は、人間の生存と地球の存続のイメージが重ね合わされたとき、はじめて生まれた。核テクノロジーを中心とした科学技術の加速度的な展開・拡張と、世紀末の黙示録的な社会心理は、「未来のカタストロフ」を漠然と予感するような感覚を人間のなかに芽生えさせた。そしてこの「終焉の意識」とちよほどバランスをとるようなかたちで、「エコロジー」という名において地球と人間の「再生」を夢見ようとははじめたのだ。だがその意識のなかの「エコロジー」には無数の変種が存在している。資本主義や科学主義の体系を超え出た、まったく新しい精神の「生態学的叡知^{えいち}」をめざそうとする動きはまだかすかな萌芽をみせているにすぎず、むしろ今日の世界を覆い尽くしているのは、エコロジカルな認識がうみだす心理的危機意識を社会の諸領域のなかで巧みに利用して、現実的で実質的な効果をあげようとするムーヴメントの方である。

B ² 現在のエコロジー・ムーヴメントが社会に投影される場合は、おおまかにいって二つあると考えることができる。そのひとつは、いうまでもなく「政治」の領域だ。フランスやドイツにおける「緑の党」の運動が典型的に示しているように、近年のエコロジストたちは環境保護の思想を社会改革のヴィジョンの基本に据えることによって、人々の政治意識を新しいかたちで動員することを思いついた。ここでは、環境開発に対する抵抗とともに、反核、反公害、反消費主義といったスローガンがエコロジー推進のための政治的態度として選びとられ、中央政府の強固な行政的主導性を転倒し無化することを目的とした市民運動的戦略のなかにエコロジーは位置づけられることになったのである。

C エコロジーの発想が、反戦や平和主義のような（時代前に興隆をみた）思想よりも現代において市民の政治的動員の原理として優れているのは、それが「科学的真理」という絶対的な論理的基礎を持つているようにみえる点にある。³ 「反戦」や「平和」というような考え方があくまで利害関係のなかでの相対性の問題でしかないことがわかりはじめたいま、「地球の生態学的維持」という科学的なテーマの万人にたいする正当性に裏打ちされたエコロジーは、まさに特権的な立場にあるといえる。

D だが、市民の動員を成功させて政治勢力として自己を確立したかにみえるエコロジー運動も、フランスの哲学者フェリッ

クス・ガタリが指摘するように、「組織」として見た場合、旧来の政党が幻惑されてきたリーダーシップをめぐるスターシステムと、運営上の官僚主義にすっかり陥りかけている。柔軟なエコロジー思想を喧伝けんでんするかに見えた政治集団が、集団内の人間関係や対社会的姿勢に関してまったく反エコロジー的に硬直化しているという逆説を、環境保護団体はもろくも露呈してしまったのである。

エコロジーの発想が現代社会に投影される第二の領域としてあげねばならないのが、「産業」、すなわち「ビジネス」の領域である。これは、無農薬野菜の栽培やフロンガス処理器の開発、あるいは光分解性のプラスチックやフェイクファーの発明などといったように、地球の生態学的維持そのものに貢献する製品の開発というかたちで行われる場合もあるが、いまむしろ注目しなければならぬのは、エコロジーをイメージ戦略として利用したビジネスの興隆である。エコロジー・ファッションにせよ、地球意識アースコンシャスを反映した商品のネーミングにせよ、そこにあらわれているのは「エコロジー」という「時代の感性」をいち早く製品のイメージに付与することで、消費者による製品の使用意識にある種の健全な「主張性」をもたせようとする意図である。これは、エコロジーの健康的でポジティブなイメージを徹底的に「消費」しつくそうとする、きわめて狡猾こつぱつなビジネス戦略といわねばならない。

しかし、社会のあらゆる場面において「自然」のイメージが喚起され、消費されてゆくという状態は、すでにアメリカの批評家ジョン・バージャーが鋭く指摘したように、「自然」そのものの物理的消滅を前提としたときにはじめて生ずる。私たちが「自然」について持つことになった科学的・社会的知識は、すなわち私たちの「権力」の指標なのであって、それこそが私たちを自然から遠ざけることになった力を示している。

⁵ 自然について知れば知るほど、そして自然について語れば語るほど、自然は私たちから遠のいていったのだ。科学的知識の獲得が「自然」の維持に直接結びつくというような一部のエコジストたちのナイーヴな信仰と、それに乗じた産業側のイメージ戦略は、まさに「知識」というかたちで人間が発動してきたこの搾取的な権力装置についてあまりにも無自覚であるといわねばならない。

「政治」の領域に投影されるにせよ、「ビジネス」の場に呼び出されるにせよ、エコロジーをとりまく現在の環境を見るかぎりひとつあきらかなことがある。それはすなわち、現代のエコロジー推進者たちが、あるとき、エコロジー的叡知が本質的に胚胎していた「言語」への関心をすっかり見失ってしまったということだ。

「言語」への関心とは、「詩」への関心といいかえてもよい。カリフォルニアの大学で「野性の思考」講座を教えるアメリカの詩人ゲイリー・スナイダーは、「エコロジカルな生存の技術としての詩について」という副題のついたあるエッセイのなかで、アメリカ・インディアンのようなプリミティブな民族文化のなかでシャーマンの身体のなかに実現されていた自然への連続的感覚が、じつは「詩」の実践によって内実を与えられていたことを述べている。「声」という息によって言語化された「詩」は、それ自体のなかにあらゆる生成変化への力を宿していたが、それはプリミティブな感性にとつては、人間をふくむ自然環境が示す生成流転の動きに対応していた。アメリカ・インディアンが憑依状態になって踊ることをつうじて大地との一体化を示すとき、彼らはかならずこんなふうに歌った。

「私はまわる／大地のへりを／長い羽根の翼をつけ／舞いながら……」。

自然界に満ちあふれる無数の「音」の連続体のなかから繊細なことばたちを選びだし、それを歌や踊りとして身体的に表現することを通じて、インディアンは彼らがまぎれもない「土地の棲息者」であることを主張している。大地がはぐくむあらゆる生命にたいする鋭敏でエロティックですらある感知力によって、インディアンたちは彼らの「棲息」の感覚を語るための限りなく厳密なことばが、「詩」としてしか存在しえないことを知悉していたのだ。

彼らは、人間がたんに肉体器官の複合体というだけでなく、精神的叡知がたぎり、ほとばしりあう混沌とした豊饒な「場」であることを知っていた。だから彼らは、大地にたちあがる自然の世界のなかに抱かれた自分自身の存在を、このエコロジカルな充満によってうめつくされた自分という「場」にゆらめく、力強く、しかも繊細な詩的「ことば」のかたまりとして、取り出すこと

ができたのである。

その意味で、プリミティブなエコロジーは、詩の世界とおどろくべき親和性⁷を示していた。そして現代世界に生きる私たちがいまふたたび回復しなければならないのは、まさにこうした美学的な核心をそなえたエコロジーだ。歌えなくなったエコロジストたちが、必死に政治や科学という権威を援用して、彼らの枯渇した詩精神をひたかくしにしているのが現代だとすれば、なによりも私たちがとりもどさねばならないのは、大地と人間とのつながりをはつきりと名指すための精密でリズミカルな魂をもつた「ことば」なのだ。詩神^{ミューズ}を宿すエコロジー……。言語的アートとしての精緻な表現能力を与えられたエコロジーだけが、二一世紀にむけて生まれはじめている新たな「主体性」と「自然」との関係をめぐる倫理学を、真の生態学的叡知へと導いてゆくことができるのである。

(今福龍太「エコロジーのミューズを求めて」『ここではない場所』より)

〔註〕

- カタストロフ……突然の大変動。大きな破滅。破局。カタストロフィともいう。
- スターシテム……人気俳優などを中心に据えて、観客動員を図る製作や興行の方式。
- フェイクファー……合成繊維による人工毛皮の総称。
- シャーマン……神や霊との直接交流によって卜占、予言、治病などを行う呪術師。

問一 傍線部「現在のエコロジー思想の表層的な展開」とあるが、それはどのようなものか。その説明にあたる箇所を、本文中の **A** ～ **D** の段落(第三段落～第六段落)の範囲内から五〇字以上七〇字以内で抜き出し、その最初と最後の六字を書きなさい。句読点や記号も一字とする。ルビは不要。解答番号は **201**

問二 傍線部2において、「現在のエコロジー・ムーブメントが社会に投影される場合は、おおまかにいって二つある」とあるが、

「政治」の領域」に投影された「現在のエコロジー・ムーブメント」が抱える問題を、筆者はどのように認識しているか。その説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 1

A 人々の政治意識を喚起する新しい手段としてエコロジー運動が選ばれたことにより、環境保護の思想に余計な政治色が付いてしまった。

B 科学的真理に支えられたエコロジーの思想が特権化し、反戦や平和主義という市民運動の本来の目的が見えにくくなってしまった。

C エコロジー運動は社会変革のかなめとして一定の成果を上げてきたが、リーダーシップのある人材に乏しく、組織としては未熟である。

D 支持を得るために著名人を起用するスターシステムなどの旧態依然とした組織運営を、エコロジー運動が率先して押し進めている。

E エコロジー運動は従来の政治団体と同じ組織上の問題に陥っており、組織内部でも外部に対しても柔軟な対応力を欠いている。

問三 傍線部3「反戦」や「平和」というような考え方があくまで利害関係のなかでの相対性の問題でしかない」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は

2

A 反戦・平和運動は多くの人命を左右する切実な問題であるため、意見の対立が深刻になりやすく、活動の維持が著しく困難であるということ。

B エコロジーの思想と異なり、反戦・平和の主張は科学的に正当化できるものではないので、どのような立場も絶対的優位には立てないということ。

C 環境保護は誰の目にもあきらかな課題であるが、反戦・平和運動は戦争のない地域では真剣な支持を得にくいということ。

D 環境問題は全人類に関わる普遍的問題であるが、戦争は特定の集団間の利害問題でしかないので、当事者以外は関心をもちにくいということ。

E 反戦・平和運動は、エコロジー運動が持つような産業やビジネスとの関わりが希薄であるために、訴求力に乏しいということ。

問四 傍線部4「きわめて狡猾なビジネス戦略」とあるが、筆者がエコロジー・ビジネスを狡猾であると考えてるのはなぜか。その

理由を、解答欄の「から。」に続く形で二十五字から三十字で書きなさい。解答番号は

202

問五 傍線部5「自然について知れば知るほど、そして自然について語れば語るほど、自然は私たちから遠のいていった」とある

が、それはどのようなことか。その説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は

号は

3

- A 自然についての科学的知識が増え過ぎたために、自然の実体がかえって見えにくくなり、知的権威への依存が進んでいくということ。
- B 科学が人間の自然理解に対して支配的な力を持つようになったことにより、自然への畏怖や信仰心が失われてしまったということ。
- C 政治やビジネスにエコロジーを利用する者たちは、自然科学の特権性を強調するあまり、人々が自然に対して抱く親近感を損なわせているということ。
- D エコロジーが科学によって支えられ、また産業化されることで、自然が単なる消費の対象として使い果たされていくということ。
- E 人々がエコロジーに関心を持ち、それがビジネスに利用されることで、自然が本来持っている神秘性が失われてしまったということ。

問六 傍線部6「言語」への関心」とあるが、筆者が理解する本来的なエコロジーにとって、言語が重要であると考えられるのはなぜか。その理由の説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 4

A 自然界に充満する音を言葉によって表現する詩は、人間の原始的な感性を呼び覚まし、大地との一体化を可能にするものであるから。

B 自然の一部である身体が発する声によって言語化された詩は、人間を含む自然環境の問題を最も的確に表現することができるから。

C 詩という言語的表現によらなければ、自然に抱かれた棲息者が持つ自然とのつながりの感覚を精密に表現することはできないから。

D 人間はたんなる肉体ではなく精神的叡知の充満する「場」であり、大地によってはぐくまれるその生命力は、詩によってのみ取り出すことができるから。

E 政治や科学の権威に振り回されている現代人が、その枯渇した詩精神を取り戻すためにこそ、エコロジーが必要とされているから。

問七 傍線部7「親和性」とあるが、ここでは何と何とが親和的であると考えられているのか。その説明として最も適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 5

A 自然の規則的な移り変わりと、詩によってつむぎ出される精密なリズム。

B 生成流転する自然との連続的感覚と、あらゆる変化に対応する詩の表現力。

C シャーマンが憑依状態において体現する神秘的エロスと、自然界における生殖活動。

D エコロジー的叡知に満ちた精神と、豊饒な自然の一部としての身体。

E インディアンが持つ自然への強い関心と、詩の持つ繊細な表現の豊饒さ。

問八 傍線部8「真の生態学的叡知」とあるが、それは筆者に従えばどのようなものか。その説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 6

- A 自然と人間のつながりを感じずる詩精神に基づいて、自然との新たな共生関係を作りあげるための知恵。
- B 地球の生態学的維持だけを指すのではなく、自然への畏敬の念を持った人間本来の生を営むための知恵。
- C 科学によって裏打ちされたエコロジーと、野性の思考によって支えられたエコロジーとを融合するための知恵。
- D アメリカ・インディアンのようなプリミティブな感性を取り戻し、自然状態に戻るための知恵。
- E 政治や経済に利用されたエコロジーではなく、言語的アートと結びついたエコロジーを実現するための知恵。

問九 次のA～Eのうち、本文の内容と一致するものを一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 7

- A 現代のエコロジー思想は、核兵器や環境破壊などによって地球が滅亡するという終末思想に対して、それを否定する人々によって唱えられた。
- B 政治的動員の新しい原理として機能したエコロジー運動も官僚主義を打破できず、むしろ強固な官僚政治に取り込まれてしまった。
- C 自然を守るために開発された無農薬野菜やフロンガスの処理器は、地球の生態学的維持に役立つというイメージ戦略が功を奏して広まった商品である。
- D 人間は単なる物質ではなく叡知の充満した「場」であり、そこに宿る詩の言葉によってこそ、自然の中に抱かれた自分自身存在を取り出しうる。
- E 歌えなくなったエコロジストとは、科学的知識を活用することによって、失われた詩精神を回復させようとする現代人のことである。

〔IV〕

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

やうやう白根が嶽かくれて、比那が嵩あらはる。あさむづの橋をわたりて、玉江の葦は穂に出にけり。鶯の関を過て湯尾峠を越れば、燈が城、帰山に初雁を聞て、十四日の夕ぐれ敦賀の津に宿をもとむ。その夜、月殊に晴たり。「あすの夜もかくあるべきにや」といへば、「越路の習ひ、なほ明夜の陰晴はかりがたし」と、あるじに酒すすめられて、氣比の明神に夜参す。仲哀天皇の御廟也。社頭神さびて、松の木の間に月のもり入たる、御前の白砂霜を敷るがごとし。「往昔、遊行二世の上人大願発起の事ありて、みづから草を刈、土石を荷ひ泥濘をかはかせて、参詣往来の煩なし。古例今にたえず、神前に真砂を荷ひ給ふ。これを遊行の砂持と申し侍る」と、亭主のかたりける。

月清し遊行のもてる砂の上

十五日、亭主の詞にたがはず雨降る。

名月や北國日和定なき

5 十六日、空晴たれば、ますほの小貝ひろはんと、種の濱に舟を走す。海上七里あり。天屋何某といふもの、破籠・小竹筒などこまやかにしたためさせ、僕あまた舟にとりかせて、追風時のまに吹着ぬ。濱はわづかなる海士の小家にて、侘しき法花寺あり。ここに茶を飲み酒をあたためて、夕ぐれのさびしさ感に堪たり。

(松尾芭蕉『おくのほそ道』より)

〔註〕

○社頭……社社の前。社社のあたり。

○遊行二世の上人……一遍上人のあとを継いだ弟子、他阿上人のこと。

○泥濘……泥と水溜まりのこと。

問一 二重傍線部イ〜ホの助動詞のうち、一つだけ意味の異なるものがある。その記号をマークしなさい。解答番号は

8

- A イ
- B ロ
- C ハ
- D ニ
- E ホ

問二 傍線部「かくあるべきにや」の解釈として最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号

は 9

- A このような宿に泊まれるだろうか
- B 今晩の月のように美しいだろうか
- C 今晩のような月が見られるだろうか
- D 今日のように晴れわたるはずだ
- E 今宵のように酒を酌み交わしたいものだ

問三 傍線部「神前に真砂を荷ひ給ふ」とあるが、これは誰の行いを指すものか。最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は

10

- A 宿のあるじ
- B 気比の明神
- C 仲哀天皇
- D 遊行二世の上人
- E 代々の遊行上人

問四 本文中の俳句、「月清し遊行のもてる砂の上」の季語と季節を書きなさい。解答番号は季語が

106

105

、季節が

問五 傍線部3「名月や」に込められた作者の心情はどのようなものか。最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマ

クしなさい。解答番号は

11

- A 長い旅を経てきた後の一瞬の安らぎを、名月に求める気持ち
- B 亭主のことば通り、名月が見られなかったことに感心する気持ち
- C 名月を見るために日取りをよく考えるべきだったと悔いる気持ち
- D 楽しみにしていた名月を見ることができなかったという残念な気持ち
- E 雨上がりに思いがけず名月を見ることができたという喜びの気持ち

問六 傍線部4「北國日和定なき」と同様のことが書かれた箇所を本文中から抜き出さない(ルビは不要)。解答番号は

203

問七 傍線部5「こまやかにしたためさせ」の解釈として最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解

答番号は

12

- A いろいろと配慮して準備をさせて
- B たくさんの種類のものを用意させて
- C 問題が起こらないよう処理をさせて
- D 小さな文字で手紙を書かせて
- E 注意をして取り調べをさせて

問八 次のA～Fのうち、本文の内容と合致しないものを一つ選び、その記号をマークしなさい。答番号は

13

- A 芭蕉は十四日には、澄み渡った月を見ながら亭主と酒を酌み交わした。
- B 夜の気比神宮は神々しく、月光が木々のあいだから漏れ差し込んでいた。
- C 気比神宮の社の前には、白い真砂が敷き詰められていた。
- D 遊行二世の上人は、自らの願い事をかなえるために気比明神に奉仕した。
- E 芭蕉一行は亭主の勧めに従い、船を出して種の濱に立ち寄った。
- F 種の濱には、わずかばかりの漁師の家とわびしい寺しかなかった。

問九 次の中から松尾芭蕉の作品を一つ選び、その記号をマークしなさい。答番号は

14

- A 古事記伝
- B 野ざらし紀行
- C 方丈記
- D 山家集
- E 病床六尺
- F おらが春

